

2023年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2023年5月11日

上場会社名 宝ホールディングス株式会社
 コード番号 2531 URL <https://www.takara.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 睦
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長 (氏名) 宇佐美 昌和

TEL 075-241-5124

定時株主総会開催予定日 2023年6月29日 配当支払開始予定日 2023年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2023年6月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | |
|----------|---------|------|--------|-------|--------|------|---------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期 | 350,665 | 16.5 | 37,945 | 12.5 | 38,706 | 10.5 | 21,206 | 2.1 |
| 2022年3月期 | 300,918 | 8.1 | 43,354 | 100.8 | 43,230 | 97.1 | 20,769 | 96.4 |

(注) 包括利益 2023年3月期 41,278百万円 (3.2%) 2022年3月期 39,992百万円 (145.0%)

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産経常利益率 | 売上高営業利益率 |
|----------|------------|-----------------------|----------------|----------|----------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2023年3月期 | 107.26 | | 11.0 | 10.2 | 10.8 |
| 2022年3月期 | 105.05 | | 12.3 | 12.9 | 14.4 |

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 49百万円 2022年3月期 46百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|---------|---------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2023年3月期 | 399,174 | 255,318 | 51.1 | 1,031.60 |
| 2022年3月期 | 362,438 | 224,555 | 49.8 | 912.58 |

(参考) 自己資本 2023年3月期 203,951百万円 2022年3月期 180,420百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動によるキャッシュ・フロー | 投資活動によるキャッシュ・フロー | 財務活動によるキャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物期末残高 |
|----------|------------------|------------------|------------------|---------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2023年3月期 | 45,478 | 10,474 | 22,215 | 91,785 |
| 2022年3月期 | 16,376 | 10,399 | 4,133 | 75,729 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産 配当率 (連結) |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|---------------|--------------|--------------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2022年3月期 | | | | 37.00 | 37.00 | 7,315 | 35.2 | 4.3 |
| 2023年3月期 | | | | 38.00 | 38.00 | 7,512 | 35.4 | 3.9 |
| 2024年3月期(予想) | | | | 27.00 | 27.00 | | 35.6 | |

(注) 2023年3月期における1株当たり期末配当金については、34円から38円に変更しております。詳細については、本日(2023年5月11日)公表いたしました「剰余金の配当に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|---------|-----|--------|------|--------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 170,000 | 3.5 | 11,100 | 43.4 | 11,400 | 42.9 | 6,700 | 38.4 | 33.89 |
| 通期 | 355,000 | 1.2 | 26,300 | 30.7 | 26,800 | 30.8 | 15,000 | 29.3 | 75.87 |

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|---------------|----------|---------------|
| 2023年3月期 | 199,699,743 株 | 2022年3月期 | 199,699,743 株 |
| 2023年3月期 | 1,995,612 株 | 2022年3月期 | 1,995,577 株 |
| 2023年3月期 | 197,704,141 株 | 2022年3月期 | 197,704,189 株 |

期末自己株式数

期中平均株式数

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。なお、連結業績予想の詳細及びセグメント別の業績予想につきましては、「決算短信補足資料」PAGE10/15～13/15に掲載しております。

(決算説明会内容の入手方法)

当社は2023年5月16日(火)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、説明会終了後遅滞なく当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 4 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 5 |
| (4) 今後の見通し | 5 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 5 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 6 |
| (1) 連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 8 |
| 連結損益計算書 | 8 |
| 連結包括利益計算書 | 9 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 10 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 12 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 13 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 13 |
| (会計方針の変更) | 13 |
| (セグメント情報) | 13 |
| (収益認識関係) | 15 |
| (1株当たり情報) | 16 |
| (重要な後発事象) | 16 |

○ 決算短信補足資料

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、米国や欧州を中心として景気の回復が見られましたが、原材料価格やエネルギー価格の高騰に加え、欧米各国のインフレ抑制に向けた金融引締め等による世界的な景気後退懸念など、先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済状況の中、当社グループは、2020年5月に公表した長期経営構想「TaKaRa Group Challenge for the 100th」の実行計画の第1ステップとしての「宝グループ中期経営計画2022」に取り組んでまいりました。当連結会計年度は、その最終年度でありましたが、環境変化に柔軟に対応しつつ、強化すべき領域へ適切な経営資源の配分と投下を行い、収益力を高める多様な「価値」を生み出し続ける事業構造とグローバルなコーポレート機能の再構築を推し進めることで、国内外での持続的な成長の実現とグループの企業価値向上に注力いたしました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高350,665百万円(前期比16.5%増)、売上総利益119,941百万円(同5.6%増)、販売費及び一般管理費81,996百万円(同16.8%増)、営業利益37,945百万円(同12.5%減)、経常利益38,706百万円(同10.5%減)、親会社株主に帰属する当期純利益21,206百万円(同2.1%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

〔宝酒造〕

宝酒造は、食品メーカーとして安全・安心な商品の安定的な供給に最優先に取り組むとともに、消費者に支持される差異化ポイントを付与した新商品の開発や高利益商品の育成によるプロダクトミックスの改善などに注力いたしました。また、原材料価格やエネルギー価格の高騰に対しては、徹底したコストダウンや効率化に取り組むとともに、商品価格の改定による利益率の維持・改善に取り組みました。

当セグメントのカテゴリー別の売上状況などは次のとおりであります。

焼酎では、甲類焼酎の大容量商品や35度焼酎などが減少しましたので、減収となりました。清酒では、料飲店市場の回復が進む中、“松竹梅「豪快」”は増加しましたが、家庭向けの“松竹梅「天」”などが減少しましたので、減収となりました。ソフトアルコール飲料では、基幹ブランドと位置づけている“タカラ「焼酎ハイボール」”が引き続き増加し、“タカラ「辛口ゼロボール」”の新発売なども寄与しましたので、増収となりました。調味料では、本みりんや食品調味料などが増加しましたので、増収となりました。原料用アルコール等も増収となりました。

以上の結果、宝酒造の売上高は、122,921百万円(前期比2.7%増)となりました。売上原価は93,645百万円(同3.0%増)となり、売上総利益は29,276百万円(同1.6%増)となりました。販売費及び一般管理費は、人件費や事業場間転送の効率化により運送費などが減少し、24,385百万円(同1.2%減)となりましたので、営業利益は4,890百万円(同18.3%増)となりました。

〔宝酒造インターナショナルグループ〕

宝酒造インターナショナルグループは、日本からの酒類の輸出や海外各地で酒類の製造・販売を行う海外酒類事業と海外の日本食レストランや小売店などに日本食材などを販売する海外日本食材卸事業を展開しております。

当セグメントの売上状況などは次のとおりであります。

海外酒類事業

ウイスキーはプレミアムバーボン“Blanton's”が引き続き好調に推移し、スコッチウイスキー“Tomatin”も売上を伸ばしました。清酒など和酒の売上は、中国ではコロナ禍の影響を大きく受けて減少したものの、市場規模が大きい米国では増加しましたので、海外酒類事業の売上高は18,253百万円(前期比29.8%増)となりました。

海外日本食材卸事業

米国や欧州などの料飲店市場の好調に加え、小売店やネット通販などの販売チャネルの多角化への取り組みや、顧客ニーズに即した商品調達と供給体制の整備にも取り組んだことなどにより、海外日本食材卸事業の売上高は、121,354百万円(前期比35.2%増)となりました。

以上の結果、セグメント内取引消去後の宝酒造インターナショナルグループの売上高は、137,483百万円(前期比34.5%増)となりました。売上原価は95,088百万円(同35.8%増)となり、売上総利益は42,394百万円(同31.9%増)となりました。販売費及び一般管理費は、人件費や運送費などが増加し、31,573百万円(同33.4%増)となりましたので、営業利益は10,821百万円(同27.7%増)となりました。

〔タカラバイオグループ〕

タカラバイオグループは、バイオテクノロジーを利用する研究開発活動がますます広がりを見せる中、こうした研究開発活動を支援する試薬・機器を開発し、世界中のバイオ研究者に提供する事業を展開しております。また、近年、製薬企業などで開発が盛んな再生・細胞医療・遺伝子治療の開発・製造を支援するCDMO受託を展開しております。CDMOとは医薬品の製法開発から製造までの工程を受託する事業を指し、タカラバイオグループでは、遺伝子治療の分野に注力しております。その他、遺伝子医療事業では、遺伝子治療薬の製造補助剤の製造・販売、新規モダリティ(治療法)の創出、臨床開発プロジェクトを進め、独自のバイオ創薬基盤技術の価値の最大化に取り組んでおります。

当セグメントの売上状況は、機器・受託事業の売上高が減少したものの、試薬事業の売上高が抗原検査試薬を含む新型コロナウイルス検査関連試薬の大幅伸長により、増加いたしました。また、遺伝子医療事業の売上高も増加いたしました。

以上の結果、売上高は、78,142百万円(前期比15.4%増)となりました。売上原価は、売上構成の変化等により、33,377百万円(同80.5%増)となり、売上総利益は44,765百万円(同9.0%減)となりました。販売費及び一般管理費は、人件費や研究開発費などが増加し、24,224百万円(同19.3%増)となりましたので、営業利益は、20,541百万円(同28.9%減)となりました。

〔その他〕

その他のセグメントは、不動産賃貸事業、物流事業、ワイン輸入販売などであります。当セグメントの売上高は、ワインの輸入販売が引き続き好調に推移したことにより、30,950百万円(前期比0.8%増)となりました。売上原価は26,770百万円(同0.5%増)となり、売上総利益は4,179百万円(同2.1%増)となりました。販売費及び一般管理費は、運送費などが増加し、1,885百万円(同0.8%増)となりましたので、営業利益は2,293百万円(同3.2%増)となりました。

品種別販売実績

| セグメントの名称 | 前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 対前年 増減率 |
|------------------------------------|--|--|------------|
| 品種 | 金額 (百万円) | 金額 (百万円) | (%) |
| 宝酒造 | | | |
| 焼酎 | 37,935 | 36,597 | △3.5 |
| 清酒 | 12,803 | 12,145 | △5.1 |
| ソフトアルコール飲料 | 37,677 | 40,069 | 6.3 |
| その他酒類 | 5,467 | 5,328 | △2.5 |
| 本みりん | 9,097 | 9,477 | 4.2 |
| その他調味料 | 8,560 | 8,780 | 2.6 |
| 原料用アルコール等 | 8,168 | 10,522 | 28.8 |
| 計 | 119,710 | 122,921 | 2.7 |
| 宝酒造インターナショナルグループ | | | |
| 海外酒類 | 14,063 | 18,253 | 29.8 |
| 海外日本食材卸 | 89,728 | 121,354 | 35.2 |
| その他 | 62 | 2,847 | — |
| グループ内連結消去 | △1,668 | △4,972 | — |
| 計 | 102,186 | 137,483 | 34.5 |
| タカラバイオグループ | | | |
| 試薬 | 52,479 | 65,925 | 25.6 |
| 機器 | 1,518 | 1,375 | △9.4 |
| 受託 | 11,426 | 8,200 | △28.2 |
| 遺伝子医療 | 2,275 | 2,640 | 16.1 |
| 計 | 67,699 | 78,142 | 15.4 |
| 報告セグメント計 | 289,596 | 338,547 | 16.9 |
| その他 | 30,719 | 30,950 | 0.8 |
| セグメント計 | 320,315 | 369,498 | 15.4 |
| 事業セグメントに配分していない 収益およびセグメント間取引消去 | △19,396 | △18,832 | — |
| 合計 | 300,918 | 350,665 | 16.5 |

(注) 1. 販売金額には酒税を含んでおります。

2. 2022年3月期までタカラバイオグループの「試薬」に含めていたGMPグレード(再生医療等製品製造用)の試薬類等の売上高を、第1四半期連結会計期間より「遺伝子医療」に含めております。本表の前連結会計年度の実績は、当該変更を反映して組み替えております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は241,513百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,189百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が16,375百万円増加し、受取手形及び売掛金が1,232百万円、商品及び製品が5,360百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は157,661百万円となり、前連結会計年度末に比べ27,546百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が9,143百万円、投資その他の資産がASC第842号「リース」の適用などにより17,831百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、総資産は、399,174百万円となり、前連結会計年度末に比べ36,736百万円増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は67,454百万円となり、前連結会計年度末に比べ11,696百万円減少いたしました。これは主に1年内償還予定の社債が10,000百万円減少したことによるものであります。

固定負債は76,401百万円となり、前連結会計年度末に比べ17,670百万円増加いたしました。これは主に固定負債のその他がASC第842号「リース」の適用などにより15,417百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は、143,856百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,973百万円増加いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は255,318百万円となり、前連結会計年度末に比べ30,762百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が13,891百万円、為替換算調整勘定が9,355百万円、非支配株主持分が7,231百万円、それぞれ増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は、51.1%(前連結会計年度末は49.8%)となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益39,692百万円、減価償却費9,118百万円、売上債権の減少2,634百万円、棚卸資産の減少8,969百万円、未払消費税等の増加2,104百万円、法人税等の支払額15,535百万円などで45,478百万円の収入と前期に比べ29,101百万円の収入増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入による支出23,167百万円、定期預金の払戻による収入24,008百万円、有形及び無形固定資産の取得による支出10,618百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出1,068百万円などにより10,474百万円の支出と前期に比べ74百万円の支出増加となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の償還による支出10,000百万円、配当金の支払額7,305百万円、非支配株主への配当金の支払額1,579百万円、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出1,551百万円などにより22,215百万円の支出(前期は4,133百万円の収入)となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物に係る換算差額を含めた当連結会計年度末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より16,056百万円増加し、91,785百万円となりました。

(4) 今後の見通し

2024年3月期は、宝酒造インターナショナルグループでは、海外での日本食の広がりを背景に、既存ルートの更なる深耕や、チャネルの多角化、新規販売エリアの拡大により、海外酒類事業、海外日本食材卸事業ともに増益となる見通しです。

一方、宝酒造は、2023年3月期に実施した価格改定の効果があるものの、原材料、容器等のコストアップに加えて安全・安心のための投資やブランド育成費用の増額をする事で減益となる見通しです。タカラバイオグループも、新型コロナウイルス検査関連試薬の需要減による減収と、人件費や研究開発費なども増加させる計画であるため、減益となる見通しです。

これらにより、翌連結会計年度(2024年3月期)の連結業績見通しは、売上高355,000百万円、営業利益26,300百万円、経常利益26,800百万円、親会社株主に帰属する当期純利益15,000百万円を予想しております。連結業績予想の詳細及びセグメント別の業績予想につきましては、「決算短信補足資料」内(PAGE10/15~13/15)に記載しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当連結会計年度 (2023年3月31日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 80,445 | 96,820 |
| 受取手形及び売掛金 | 62,856 | 61,624 |
| 電子記録債権 | 7,403 | 8,093 |
| 商品及び製品 | 63,172 | 57,812 |
| 仕掛品 | 2,012 | 1,718 |
| 原材料及び貯蔵品 | 7,458 | 7,372 |
| その他 | 9,422 | 8,765 |
| 貸倒引当金 | △449 | △694 |
| 流動資産合計 | 232,323 | 241,513 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 69,584 | 76,265 |
| 減価償却累計額 | △36,902 | △39,487 |
| 建物及び構築物 (純額) | 32,682 | 36,778 |
| 機械装置及び運搬具 | 88,453 | 90,919 |
| 減価償却累計額 | △73,447 | △75,654 |
| 機械装置及び運搬具 (純額) | 15,006 | 15,265 |
| 土地 | 20,170 | 20,861 |
| リース資産 | 1,512 | 1,520 |
| 減価償却累計額 | △605 | △731 |
| リース資産 (純額) | 907 | 789 |
| 建設仮勘定 | 1,782 | 3,662 |
| その他 | 24,046 | 28,496 |
| 減価償却累計額 | △14,848 | △16,962 |
| その他 (純額) | 9,198 | 11,533 |
| 有形固定資産合計 | 79,747 | 88,890 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 10,070 | 10,668 |
| その他 | 5,290 | 5,262 |
| 無形固定資産合計 | 15,360 | 15,931 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 29,228 | 30,573 |
| 退職給付に係る資産 | 907 | 1,054 |
| 繰延税金資産 | 2,682 | 2,170 |
| その他 | 2,253 | 19,103 |
| 貸倒引当金 | △64 | △64 |
| 投資その他の資産合計 | 35,006 | 52,838 |
| 固定資産合計 | 130,114 | 157,661 |
| 資産合計 | 362,438 | 399,174 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当連結会計年度 (2023年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 20,973 | 21,775 |
| 短期借入金 | 5,497 | 4,919 |
| 1年内償還予定の社債 | 10,000 | — |
| 未払酒税 | 7,172 | 5,815 |
| 未払費用 | 5,579 | 6,368 |
| 未払法人税等 | 6,602 | 2,220 |
| 賞与引当金 | 3,161 | 3,380 |
| その他 | 20,164 | 22,975 |
| 流動負債合計 | 79,151 | 67,454 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 20,000 | 20,000 |
| 長期借入金 | 15,248 | 15,186 |
| リース債務 | 3,005 | 4,452 |
| 繰延税金負債 | 3,969 | 4,855 |
| 退職給付に係る負債 | 8,944 | 8,925 |
| その他 | 7,562 | 22,980 |
| 固定負債合計 | 58,730 | 76,401 |
| 負債合計 | 137,882 | 143,856 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 13,226 | 13,226 |
| 資本剰余金 | 2,499 | 1,994 |
| 利益剰余金 | 149,933 | 163,825 |
| 自己株式 | △1,682 | △1,682 |
| 株主資本合計 | 163,976 | 177,363 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 12,216 | 12,974 |
| 繰延ヘッジ損益 | 412 | 286 |
| 為替換算調整勘定 | 4,330 | 13,686 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △515 | △359 |
| その他の包括利益累計額合計 | 16,443 | 26,588 |
| 非支配株主持分 | 44,135 | 51,366 |
| 純資産合計 | 224,555 | 255,318 |
| 負債純資産合計 | 362,438 | 399,174 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 300,918 | 350,665 |
| 売上原価 | 187,376 | 230,723 |
| 売上総利益 | 113,541 | 119,941 |
| 販売費及び一般管理費 | 70,187 | 81,996 |
| 営業利益 | 43,354 | 37,945 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 176 | 265 |
| 受取配当金 | 590 | 800 |
| 不動産賃貸料 | 157 | 176 |
| その他 | 568 | 436 |
| 営業外収益合計 | 1,492 | 1,678 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 330 | 324 |
| 為替差損 | 807 | 222 |
| その他 | 477 | 370 |
| 営業外費用合計 | 1,615 | 917 |
| 経常利益 | 43,230 | 38,706 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 88 | 264 |
| 投資有価証券売却益 | — | 674 |
| 受取保険金 | 100 | 678 |
| その他 | 4,470 | 63 |
| 特別利益合計 | 4,658 | 1,681 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 407 | 499 |
| 製品自主回収関連損失 | 1,190 | — |
| その他 | 5,329 | 195 |
| 特別損失合計 | 6,928 | 694 |
| 税金等調整前当期純利益 | 40,961 | 39,692 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 11,900 | 10,144 |
| 法人税等調整額 | △309 | 857 |
| 法人税等合計 | 11,590 | 11,001 |
| 当期純利益 | 29,370 | 28,690 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 8,601 | 7,483 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 20,769 | 21,206 |

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 当期純利益 | 29,370 | 28,690 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 845 | 757 |
| 繰延ヘッジ損益 | 219 | △125 |
| 為替換算調整勘定 | 9,189 | 11,855 |
| 退職給付に係る調整額 | 367 | 100 |
| その他の包括利益合計 | 10,622 | 12,588 |
| 包括利益 | 39,992 | 41,278 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 29,349 | 31,351 |
| 非支配株主に係る包括利益 | 10,643 | 9,927 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位: 百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|--------|-------|---------|--------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 13,226 | 2,292 | 135,184 | △1,682 | 149,020 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | △1,867 | | △1,867 |
| 会計方針の変更を反映した当期首残高 | 13,226 | 2,292 | 133,316 | △1,682 | 147,152 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △4,151 | | △4,151 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 20,769 | | 20,769 |
| 自己株式の取得 | | | | △0 | △0 |
| 自己株式の処分 | | 0 | | 0 | 0 |
| 連結子会社株式の取得による持分の増減 | | 206 | | | 206 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | 206 | 16,617 | △0 | 16,823 |
| 当期末残高 | 13,226 | 2,499 | 149,933 | △1,682 | 163,976 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|---------|----------|--------------|---------------|---------|---------|
| | その他有価証券評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 為替換算調整勘定 | 退職給付に係る調整累計額 | その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 11,370 | 193 | △2,840 | △859 | 7,863 | 34,650 | 191,535 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | | | | | △1,867 |
| 会計方針の変更を反映した当期首残高 | 11,370 | 193 | △2,840 | △859 | 7,863 | 34,650 | 189,667 |
| 当期変動額 | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | | △4,151 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | | | 20,769 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | △0 |
| 自己株式の処分 | | | | | | | 0 |
| 連結子会社株式の取得による持分の増減 | | | | | | | 206 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 845 | 219 | 7,171 | 343 | 8,580 | 9,484 | 18,064 |
| 当期変動額合計 | 845 | 219 | 7,171 | 343 | 8,580 | 9,484 | 34,888 |
| 当期末残高 | 12,216 | 412 | 4,330 | △515 | 16,443 | 44,135 | 224,555 |

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|--------|-------|---------|--------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 13,226 | 2,499 | 149,933 | △1,682 | 163,976 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △7,315 | | △7,315 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 21,206 | | 21,206 |
| 自己株式の取得 | | | | △0 | △0 |
| 自己株式の処分 | | 0 | | 0 | 0 |
| 連結子会社株式の取得による持分の増減 | | △505 | | | △505 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | △505 | 13,891 | △0 | 13,386 |
| 当期末残高 | 13,226 | 1,994 | 163,825 | △1,682 | 177,363 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|---------|----------|--------------|---------------|---------|---------|
| | その他有価証券評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 為替換算調整勘定 | 退職給付に係る調整累計額 | その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 12,216 | 412 | 4,330 | △515 | 16,443 | 44,135 | 224,555 |
| 当期変動額 | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | | △7,315 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | | | 21,206 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | △0 |
| 自己株式の処分 | | | | | | | 0 |
| 連結子会社株式の取得による持分の増減 | | | | | | | △505 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 757 | △125 | 9,355 | 156 | 10,144 | 7,231 | 17,375 |
| 当期変動額合計 | 757 | △125 | 9,355 | 156 | 10,144 | 7,231 | 30,762 |
| 当期末残高 | 12,974 | 286 | 13,686 | △359 | 26,588 | 51,366 | 255,318 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) |
|----------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 40,961 | 39,692 |
| 減価償却費 | 8,425 | 9,118 |
| 減損損失 | 185 | — |
| のれん償却額 | 875 | 998 |
| 販売促進引当金の増減額 (△は減少) | △2,049 | — |
| 受取利息及び受取配当金 | △767 | △1,066 |
| 支払利息 | 330 | 324 |
| 受取保険金 | △100 | △678 |
| 固定資産除売却損益 (△は益) | 319 | 235 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | — | △674 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △7,109 | 2,634 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △21,235 | 8,969 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 3,920 | △252 |
| 未払酒税の増減額 (△は減少) | 281 | △1,358 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | △1,890 | 2,104 |
| その他の流動負債の増減額 (△は減少) | 3,372 | △1,261 |
| その他 | △112 | 835 |
| 小計 | 25,406 | 59,621 |
| 利息及び配当金の受取額 | 787 | 1,053 |
| 利息の支払額 | △334 | △340 |
| 法人税等の支払額 | △10,253 | △15,535 |
| 保険金の受取額 | 100 | 678 |
| 補助金の受取額 | 671 | — |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 16,376 | 45,478 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △15,513 | △23,167 |
| 定期預金の払戻による収入 | 14,758 | 24,008 |
| 有形及び無形固定資産の取得による支出 | △14,762 | △10,618 |
| 有形及び無形固定資産の売却による収入 | 1,326 | 430 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △43 | △517 |
| 投資有価証券の売却による収入 | — | 793 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | — | △1,068 |
| その他 | 3,834 | △334 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △10,399 | △10,474 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 66 | △435 |
| 長期借入金の返済による支出 | △55 | △363 |
| 社債の発行による収入 | 9,927 | — |
| 社債の償還による支出 | — | △10,000 |
| 配当金の支払額 | △4,147 | △7,305 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △763 | △1,579 |
| リース債務の返済による支出 | △710 | △919 |
| 連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出 | △175 | △1,551 |
| その他 | △8 | △61 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 4,133 | △22,215 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 2,758 | 3,267 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 12,869 | 16,056 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 62,860 | 75,729 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 75,729 | 91,785 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(ASC第842号「リース」の適用)

米国会計基準を適用している在外子会社において、ASC第842号「リース」(以下、「本基準」という。)を当連結会計年度より適用しております。これに伴い、借手のリース取引については、原則としてすべてのリースについて資産及び負債を認識することとしております。

本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当連結会計年度の連結貸借対照表において、投資その他の資産の「その他」が16,531百万円、流動負債の「その他」が1,350百万円、固定負債の「その他」が15,234百万円それぞれ増加しております。なお、当連結会計年度の損益及び1株当たり情報に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高経営意思決定機関が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業会社である宝酒造株式会社、宝酒造インターナショナル株式会社、タカラバイオ株式会社を中核企業とする各企業グループ及びその他で構成されており、当社は各事業会社を統括する持株会社であります。各事業会社は、各々取り扱う製品・商品やサービスについて国内あるいは海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社グループは、製品・商品やサービスの内容を基本としながらも、経営責任・業績評価の単位を重視し、「宝酒造」「宝酒造インターナショナルグループ」及び「タカラバイオグループ」の3つを報告セグメントとしております。

「宝酒造」は、主に国内における酒類・調味料の製造・販売を行っております。「宝酒造インターナショナルグループ」は、日本からの酒類の輸出、海外における酒類の製造・販売や日本食材卸事業を行っております。「タカラバイオグループ」は、試薬・機器事業とCDMO事業を通じ、バイオ創薬基盤技術開発を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成に用いた会計処理基準と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。また、セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自2021年4月1日至2022年3月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 連結 財務諸表 計上額 (注) 3 |
|--------------------|---------|------------------------------|--------------------|---------|--------------|---------|--------------|----------------------------|
| | 宝酒造 | 宝酒造イ ンターナ ショナル グループ | タカラバ イオグル ープ | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 118,889 | 101,920 | 67,699 | 288,510 | 12,408 | 300,918 | — | 300,918 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 820 | 265 | 0 | 1,086 | 18,310 | 19,396 | △19,396 | — |
| 計 | 119,710 | 102,186 | 67,699 | 289,596 | 30,719 | 320,315 | △19,396 | 300,918 |
| セグメント利益 | 4,135 | 8,472 | 28,902 | 41,510 | 2,222 | 43,733 | △379 | 43,354 |
| セグメント資産 | 90,442 | 89,836 | 115,712 | 295,991 | 19,836 | 315,827 | 46,610 | 362,438 |
| その他の項目 | | | | | | | | |
| 減価償却費 | 2,590 | 1,675 | 3,554 | 7,820 | 238 | 8,059 | 366 | 8,425 |
| のれんの償却額 | — | 374 | 500 | 875 | — | 875 | — | 875 |
| 持分法適用会社への投資額 | — | — | — | — | — | — | 1,769 | 1,769 |
| 有形固定資産及び無形固定資産の増加額 | 1,785 | 844 | 13,180 | 15,810 | 208 | 16,018 | 194 | 16,213 |

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、物流事業、ワイン輸入販売などであります。
2. 調整額の内容は以下のとおりであります。
- (1)セグメント利益は、セグメント間取引消去34百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益△413百万円であります。
 - (2)セグメント資産は、事業セグメントに配分していない当社の資産75,059百万円、その他の調整額（主としてセグメント間取引消去）△28,449百万円であります。当社に係る資産は、余資運用資金や長期投資資金などあります。
 - (3)減価償却費は、主として当社において計上した減価償却費であります。
 - (4)持分法適用会社への投資額は、事業セグメントに配分していない持分法適用会社への投資額であります。
 - (5)有形固定資産及び無形固定資産の増加額は、主として当社において計上した増加額であります。
3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自2022年4月1日 至2023年3月31日）

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 連結 財務諸表 計上額 (注) 3 |
|------------------------|---------|------------------------------|--------------------|---------|--------------|---------|--------------|----------------------------|
| | 宝酒造 | 宝酒造イ ンターナ ショナル グループ | タカラバ イオグル ープ | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 122,116 | 137,256 | 78,139 | 337,512 | 13,152 | 350,665 | — | 350,665 |
| セグメント間の内部売 上高又は振替高 | 805 | 226 | 2 | 1,035 | 17,797 | 18,832 | △18,832 | — |
| 計 | 122,921 | 137,483 | 78,142 | 338,547 | 30,950 | 369,498 | △18,832 | 350,665 |
| セグメント利益 | 4,890 | 10,821 | 20,541 | 36,252 | 2,293 | 38,546 | △601 | 37,945 |
| セグメント資産 | 89,979 | 121,348 | 129,202 | 340,530 | 18,849 | 359,380 | 39,794 | 399,174 |
| その他の項目 | | | | | | | | |
| 減価償却費 | 2,467 | 2,043 | 4,050 | 8,561 | 230 | 8,791 | 326 | 9,118 |
| のれんの償却額 | — | 399 | 599 | 998 | — | 998 | — | 998 |
| 持分法適用会社への投 資額 | — | — | — | — | — | — | 1,715 | 1,715 |
| 有形固定資産及び無形 固定資産の増加額 | 2,763 | 4,704 | 6,516 | 13,985 | 100 | 14,085 | 79 | 14,165 |

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、物流事業、ワイン輸入販売などあります。
2. 調整額の内容は以下のとおりであります。
- (1)セグメント利益は、セグメント間取引消去57百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益△658百万円あります。
 - (2)セグメント資産は、事業セグメントに配分していない当社の資産64,793百万円、その他の調整額（主としてセグメント間取引消去）△24,999百万円あります。当社に係る資産は、余資運用資金や長期投資資金などあります。
 - (3)減価償却費は、主として当社において計上した減価償却費であります。
 - (4)持分法適用会社への投資額は、事業セグメントに配分していない持分法適用会社への投資額であります。
 - (5)有形固定資産及び無形固定資産の増加額は、主として当社において計上した増加額であります。
3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) | 合計 |
|---------------|---------|------------------|------------|---------|------------|---------|
| | 宝酒造 | 宝酒造インターナショナルグループ | タカラバイオグループ | 計 | | |
| 酒類 | 118,889 | 12,194 | — | 131,084 | 4,542 | 135,626 |
| 海外日本食材卸 | — | 89,725 | — | 89,725 | — | 89,725 |
| バイオ | — | — | 67,699 | 67,699 | — | 67,699 |
| その他 | — | — | — | — | 7,261 | 7,261 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 118,889 | 101,920 | 67,699 | 288,510 | 11,803 | 300,313 |
| その他の収益 | — | — | — | — | 605 | 605 |
| 外部顧客への売上高 | 118,889 | 101,920 | 67,699 | 288,510 | 12,408 | 300,918 |

(注) 「その他」は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「顧客との契約から生じる収益」にワインの輸入販売や貨物の配送サービスなどによる収益を区分しており、「その他の収益」に企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づく不動産賃貸収入を区分しております。

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) | 合計 |
|---------------|---------|------------------|------------|---------|------------|---------|
| | 宝酒造 | 宝酒造インターナショナルグループ | タカラバイオグループ | 計 | | |
| 酒類 | 122,116 | 15,905 | — | 138,021 | 5,298 | 143,320 |
| 海外日本食材卸 | — | 121,351 | — | 121,351 | — | 121,351 |
| バイオ | — | — | 78,139 | 78,139 | — | 78,139 |
| その他 | — | — | — | — | 7,245 | 7,245 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 122,116 | 137,256 | 78,139 | 337,512 | 12,543 | 350,056 |
| その他の収益 | — | — | — | — | 609 | 609 |
| 外部顧客への売上高 | 122,116 | 137,256 | 78,139 | 337,512 | 13,152 | 350,665 |

(注) 「その他」は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「顧客との契約から生じる収益」にワインの輸入販売や貨物の配送サービスなどによる収益を区分しており、「その他の収益」に企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づく不動産賃貸収入を区分しております。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) |
|------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 912.58円 | 1,031.60円 |
| 1株当たり当期純利益 | 105.05円 | 107.26円 |

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当連結会計年度 (2023年3月31日) |
|---------------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 純資産の部の合計額(百万円) | 224,555 | 255,318 |
| 純資産の部の合計額から控除する金額(百万円) | 44,135 | 51,366 |
| (うち非支配株主持分(百万円)) | (44,135) | (51,366) |
| 普通株式に係る期末の純資産額(百万円) | 180,420 | 203,951 |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株) | 197,704 | 197,704 |

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) |
|-----------------------------|--|--|
| 親会社株主に帰属する当期純利益(百万円) | 20,769 | 21,206 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円) | 20,769 | 21,206 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 197,704 | 197,704 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。